



証券コード 7814

2023年12月期2Q 決算説明会資料

2023年8月17日(木)



日本創発グループ
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP

We Craft Your Imagination.

Vision

日本創発グループの存在意義／めざすこと

We craft your imagination.

お客さまが羽ばたかせるご自身のイマジネーション。
私たちは、多様なリソースと先進技術を駆使して、
それを確かなカタチにするお手伝いをしていきます。

Mission

ビジョン実現に向けて、日本創発グループがなすべきこと

チームワーク

お客さまのチームの一員との心持ちで最善を尽くし、
ベスト・パートナーとなることをめざします。そのため
にも、社内・グループ内のチームワークの強化に努めます。

プロの真心と技

私たちは、お客さまのご満足と成功を願う真心と、
それを支える技を兼ね備えたプロフェッショナルです。

言い訳のない品質

納品物の品質はもとより、企画段階からアフター・フォ
ローまでのプロセスとスピードにおいても、言い訳の
ない高い品質を実現します。

Value

ビジョンとミッションの下、

日本創発グループがお客さまや社会に提供する価値

プラスαの追求

私たちの最大の喜びは、お客さまにご期待をこえる
成果をお届けし、その笑顔を見ることが。もっと
その笑顔に出会うため、私たちは自らを鍛えながら、
お客さまにとってのプラスαを追求し続けます。

我が事として

私たちは、目の前の一人ひとりのお客さまのご要望や目的、
お悩みやお困り事に真正面から向き合います。そして、
そのご満足を我が事として、丁寧に、一所懸命に追求します。

多様性の底力

私たちは、多様な個性、専門性、先進技術をもった人と
会社結びつき、切磋琢磨している集団です。そこに
息づく多様性、先進性、独創性をいっそう発揮しな
がら、お客さまに新鮮な驚きをお届けしていきます。

新しいカタチ





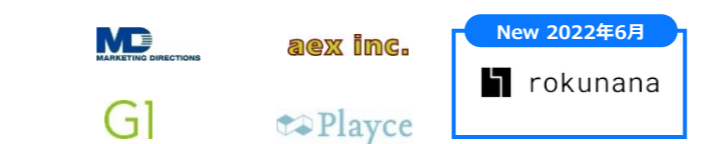






私たちは、伝統的な印刷をさらに進化させつつ、想像力
と先進デジタル技術を駆使して、クライアントの想いを、
今まで見たことのないカタチでターゲットの心に
刻みつけていきます。

良き市民

私たちは、良き市民として、お客さま、投資家、協力企業、
業界、社員、さらには地域社会や環境に対する責任を、
誠意をもって、また積極的に果たしていきます。

01 グループ会社

New 2022年 New 2023年

	印刷	ITメディア セールスプロモーション	プロダクツ
連結子会社			
持分法適用子会社			
持分法適用関連会社			
持分法適用外関連会社			

※持分法適用外関連会社は 議決権比率を記載していません。

02 新規グループ参画会社①

連結子会社

飯島製本株式会社

愛知県名古屋市

2021年6月持分法化（議決権比率38.0%）

2023年6月より連結子会社（議決権比率70.0%）

印刷物加工・製本・発送・管理等関連サービス

愛知県名古屋市で1921年に創業、100年以上の実績を持つ総合製本会社。
中京圏の3工場、関東圏、関西圏にも各1工場を有し、
継続的な設備投資により業界トップレベルの生産能力を保持しております。



大光宣伝株式会社

奈良県生駒市

2022年12月より連結子会社（議決権比率100%）

交通広告・屋外広告の企画制作

屋外広告・交通広告を中心に、企画・開発から制作・保守管理まで、独自の
ノウハウと実績を築いてきました。
関西地区で展開する企業、学校法人・病院クリニックなどのお客さまの広告
ニーズにお応えしています。



02 新規グループ参画会社②

連結子会社：ITメディア・セールスプロモーションの強化

株式会社グレートインターナショナル 東京都港区

2023年6月より連結子会社（議決権比率100%）

クリエイティブ制作・学校教育向け教材及びICT機器の販売

テレビ番組のクリエイティブワークを祖業としたデザインプロダクション企業です。

既成概念にとらわれず「オモシロイことをしよう！」をスローガンに、常に課題に挑み続けています。



株式会社バックストリート

東京都渋谷区

2023年3月より持分法化（議決権比率47.83%）

映像・イベント・音楽・グラフィックのプロデュース

映像・イベント・音楽・グラフィックを中心に様々なニーズに応えるフレキシブルなプロデュースを行う、主に幼児向け映像コンテンツを企画制作するプロデュース集団です。

教材カリキュラムからエンタメまで、平成、令和と形を変え新しいサービスを提供しています。



02 グループ会社の状況

株式会社アルファコード 東京都文京区

16億円超の資金調達

アルファコード

- ・ VR映像化
- ・ 配信データの制作

WOWOW さま

日テレ さま

他

↑
出資 +
コンテンツアドバイス
制作協力



03 2023年12月期2Q 連結累計期間の概況

(単位：百万円)

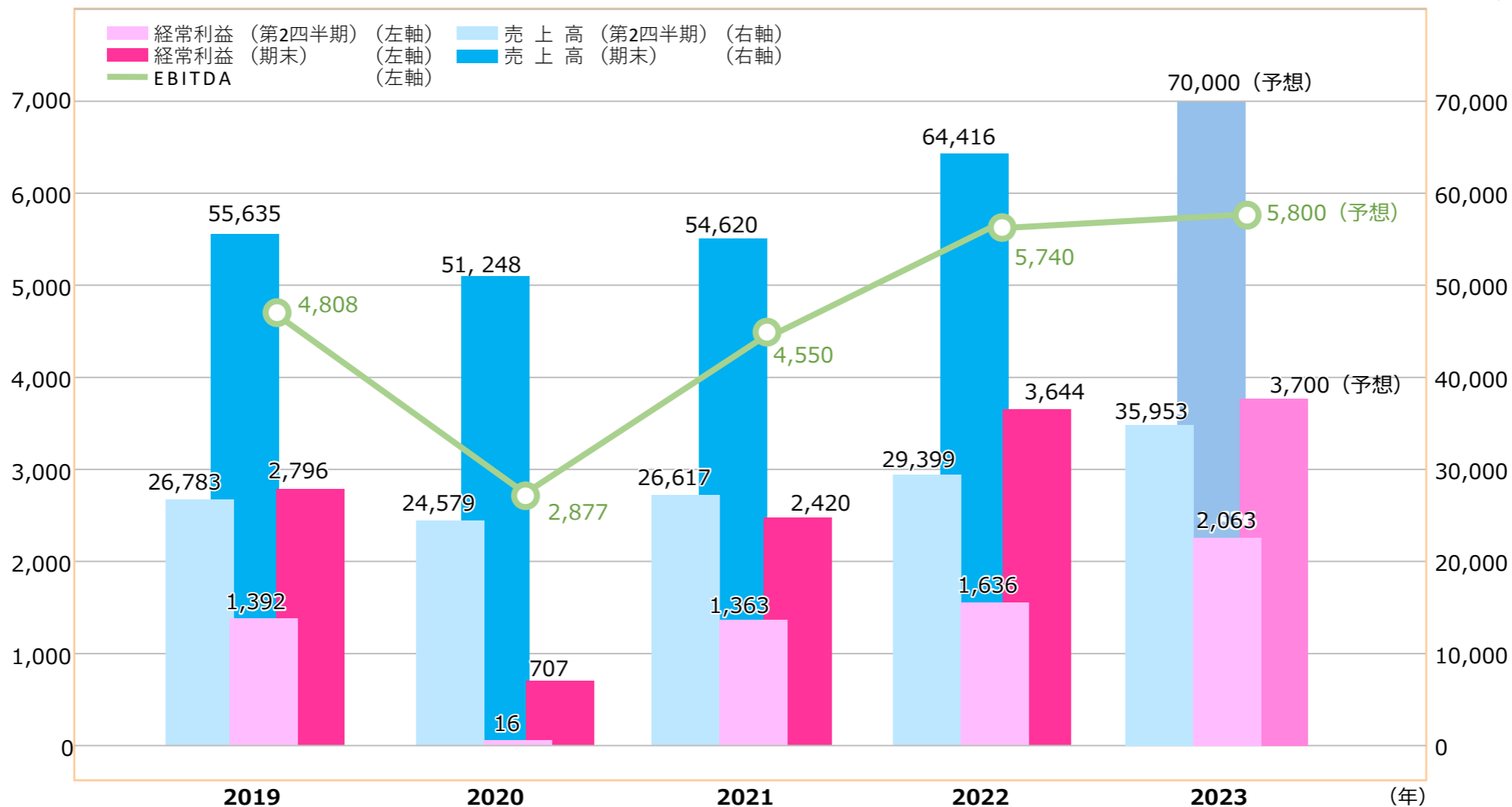
	2023年2Q 実績 (A)	2023年12月期計画 (B)		2022年2Q 実績 (C)	差 異 (A-C)	
	金 額	金 額	対計画比 進捗率	金 額	金 額	対前期比 増減率
売 上 高	35,953	70,000	51.4%	29,399	6,554	22.3%
営業利益	1,670	3,300	50.6%	1,560	109	7.0%
営業利益率	4.6%	4.7%	—	5.3%	—	—
経常利益	2,063	3,700	55.8%	1,636	426	26.1%
経常利益率	5.7%	5.3%	—	5.6%	—	—
親会社株主に 帰属する四半期 (当期)純利益	1,375	2,200	62.5%	773	601	77.7%
当期純利益率	3.8%	3.1%	—	2.6%	—	—
EBITDA	2,977	5,800	51.3%	2,769	207	7.5%

※EBITDA = 経常利益減価償却費のれんの償却額金融費用

03 2023年12月期2Q 連結累計期間の概況

(単位：百万円)

(単位：百万円)



※EBITDA = 経常利益減価償却費のれんの償却額金融費用

※2019年12月期以降は、不動産賃貸収入を売上高ではなく 営業外収入として計上しています

03 2023年12月期2Q 連結累計期間の概況

売上増加の内容

2023年12月期2Q ----- 連結子会社 **38社** ※

売上高 **35,953**百万円

2022年12月期2Q ----- 連結子会社 **32社**

売上高 **29,399**百万円

+6,554百万円 **22.3%増**

※ 連結子会社の内 2社は期末BSのみとなります。

新規連結子会社

ダイヤモンドヘッズ	2022年4月～
パークインスタイル	2022年4月～
ワン・パブリッシング	2022年7月～
リングストン	2022年7月～
大光宣伝	2023年1月～
JBS	2023年1月～ ※PL

⇒売上増加分 **約43億円**



約22億円強は、
既存事業会社の増加分

03 2023年12月期2Q 連結累計期間の概況

原材料に関する市況の変化

用紙の上昇

2020年1月から2023年6月 **約35%の上昇**

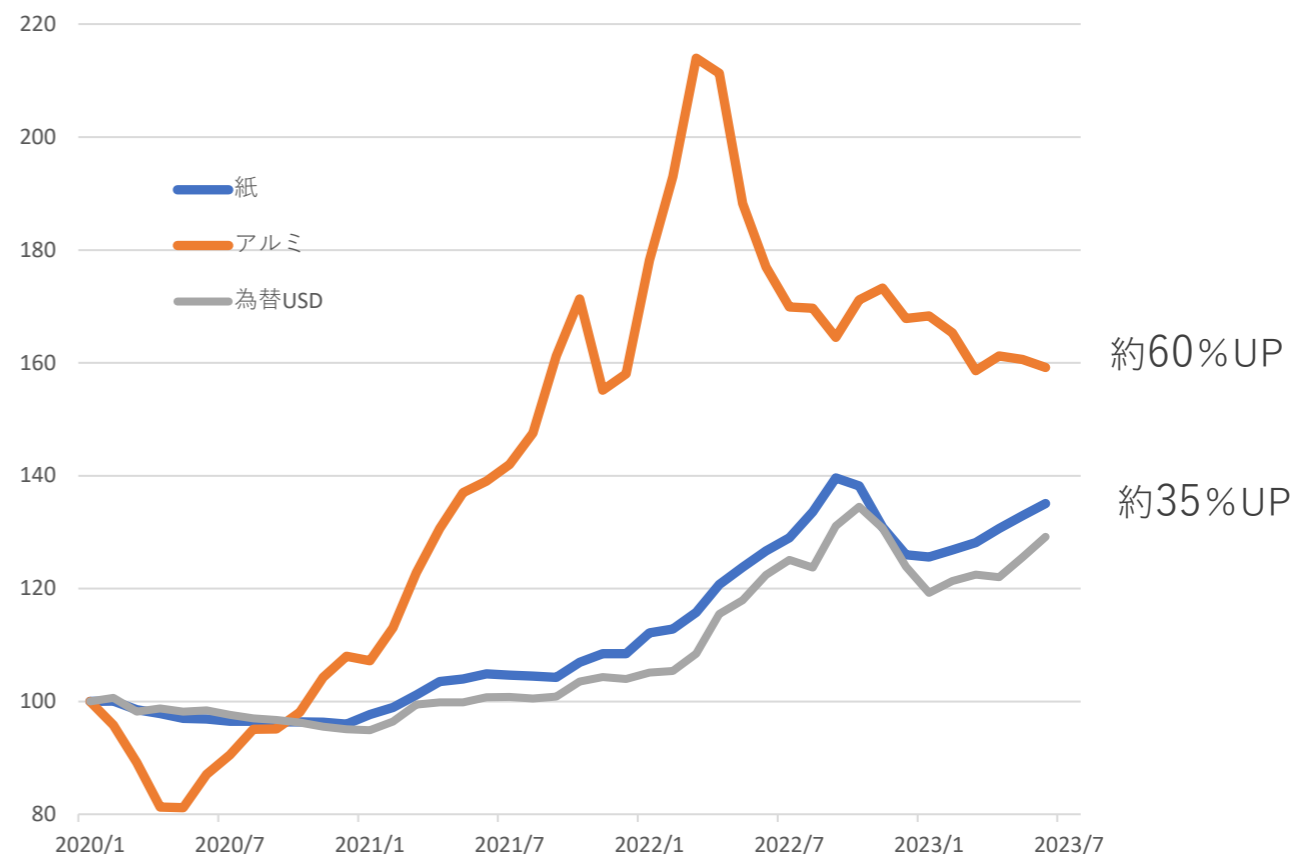
※日本銀行企業物価指数（パルプ・紙・同製品）

アルミ市況の上昇

2020年1月から2023年6月 **約60%の上昇**

※LME(ロンドン金属取引所 \$ベース) 先物清算値と為替推移から換算

紙価額とアルミ市況推移



※ 当社グループの仕入れ価額の推移とは異なります。

03 2023年12月期2Q 連結累計期間の概況

事業運営コストの上昇

水道光熱費

2023年12月期2Q	売上高比率 2.1%
2022年12月期2Q	売上高比率 2.2%

運搬費

2023年12月期2Q	売上高比率 3.0%
2022年12月期2Q	売上高比率 4.0%

印刷関連事業の売上構成比 **86%→71%**

ITメディア SP のテコ入れ
新規G参画企業 + 既存の見直し



売上総利益

2023年12月期2Q	9,826 百万円	売上高比率 27.3%
2022年12月期2Q	8,607 百万円	売上高比率 29.3%
	+ 1,219 百万円	14.2%増



ITメディア SP事業の収益力強化へ

03 2023年12月期2Q 連結累計期間の概況

販売費および一般管理費

人件費の増加

- 消費者物価指数 + 3.3%(2023年6月 前年比)
- 1人あたり総人件費 7.46% 増加 (期末人数比較)

事業の強化

- 事業規模の拡大+効率化を目的とした設備投資
NK / FUNBなど⇒ 減価償却費増加 +116百万円
- 新規G参画企業の地代家賃等 +100百万円

営業利益

2023年12月期2Q

1,670百万円

売上高比率 **4.6%**

2022年12月期2Q

1,560百万円

売上高比率 **5.3%**

+109百万円

7.0%増

03 2023年12月期2Q 連結累計期間の概況

営業外損益

- 匿名組合投資利益 159百万円
- 持分法投資損益 前年同期比 +186百万円

経常利益

2023年12月期2Q **2,063**百万円
2022年12月期2Q **1,636**百万円
+426百万円 **26.1%増**

EBITDA

2023年12月期2Q **2,977**百万円 売上高比率 **8.3%**
2022年12月期2Q **2,769**百万円 売上高比率 **9.4%**
+207百万円 **7.5%増**

※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

03 2023年12月期2Q 連結累計期間の概況

特別利益・損失

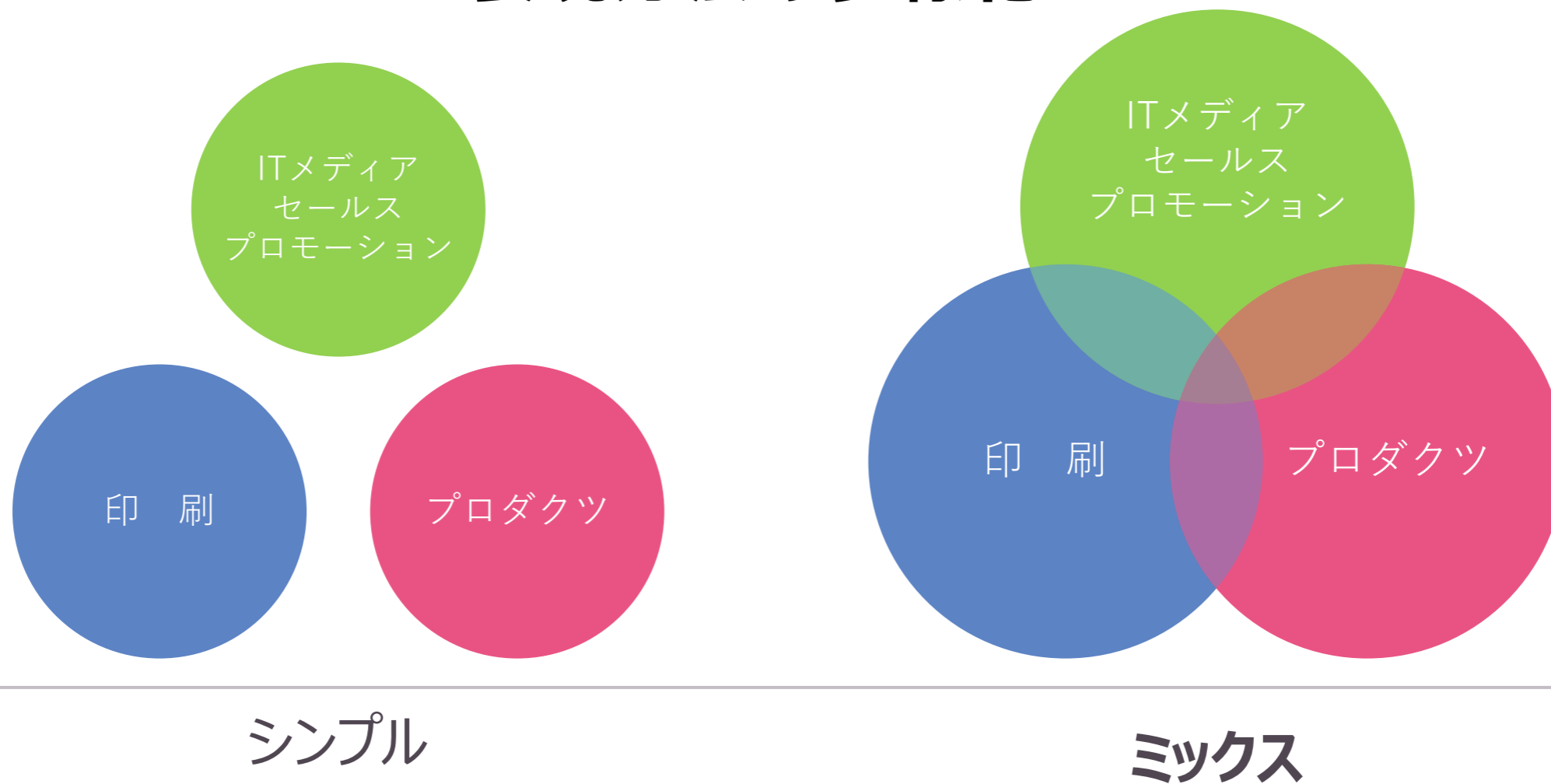
- 遊休不動産の売却
- 保険解約返戻金
⇒ グループ化にともなう会計方針
- 減損損失
⇒ のれんの回収可能性を保守的に評価

親会社株主に帰属する四半期純利益

2023年12月期2Q	1,375百万円
2022年12月期2Q	773百万円
	+ 601 百万円
	77.7%増

04 グループ事業概要

表現方法の多様化



04 グループ事業概要

企画から 制作・メディア運用までのワンストップサービス

クライアント様
(法人企業)



ご依頼

ご納品

プロデューサー



管理

製作

ソリューションチーム

ONE PUBLISHING

編集者

GI DIAMOND HEADS

デザイナー

Playce

ライター

アド・クレール
adclair co.,ltd.

校正・校閲

ONE PUBLISHING

Going Beyond Conventional Thinking
popal

イベントター

BARKIN
STYLE

キャスティング

Lithmatic

印刷・製造

CAD CENTER

BACKSTREETS
INC.

動画・配信

japan broadcast solutions inc.

JBS

FIVESTAR
INTERACTIVE

Webコンサル



SONICJAM

SEOコンサル

競合他社との差異は？

【Case 1】制作会社、編集プロダクション
編集方針など上流設計ができない。単価が高い。

【Case 2】クラウドソーシング会社
単発でのコンテンツ制作や大量制作に対応できるが、編集方針に則ったメディア運営はできない。

【Case 3】大手広告代理店
プランニングは得意だが、メディア運営はできない。再発注先が必要になり、コスト面が莫大に。

PDCA運用
イメージ

クライアント様の状況に応じて、個別・全体最適化できる施策を、企画から運用まで、ワンストップでの支援が可能

1 マーケティング
企画

2 メディア企画

3 制作運用

4 改善運用

05 印刷業界の市場

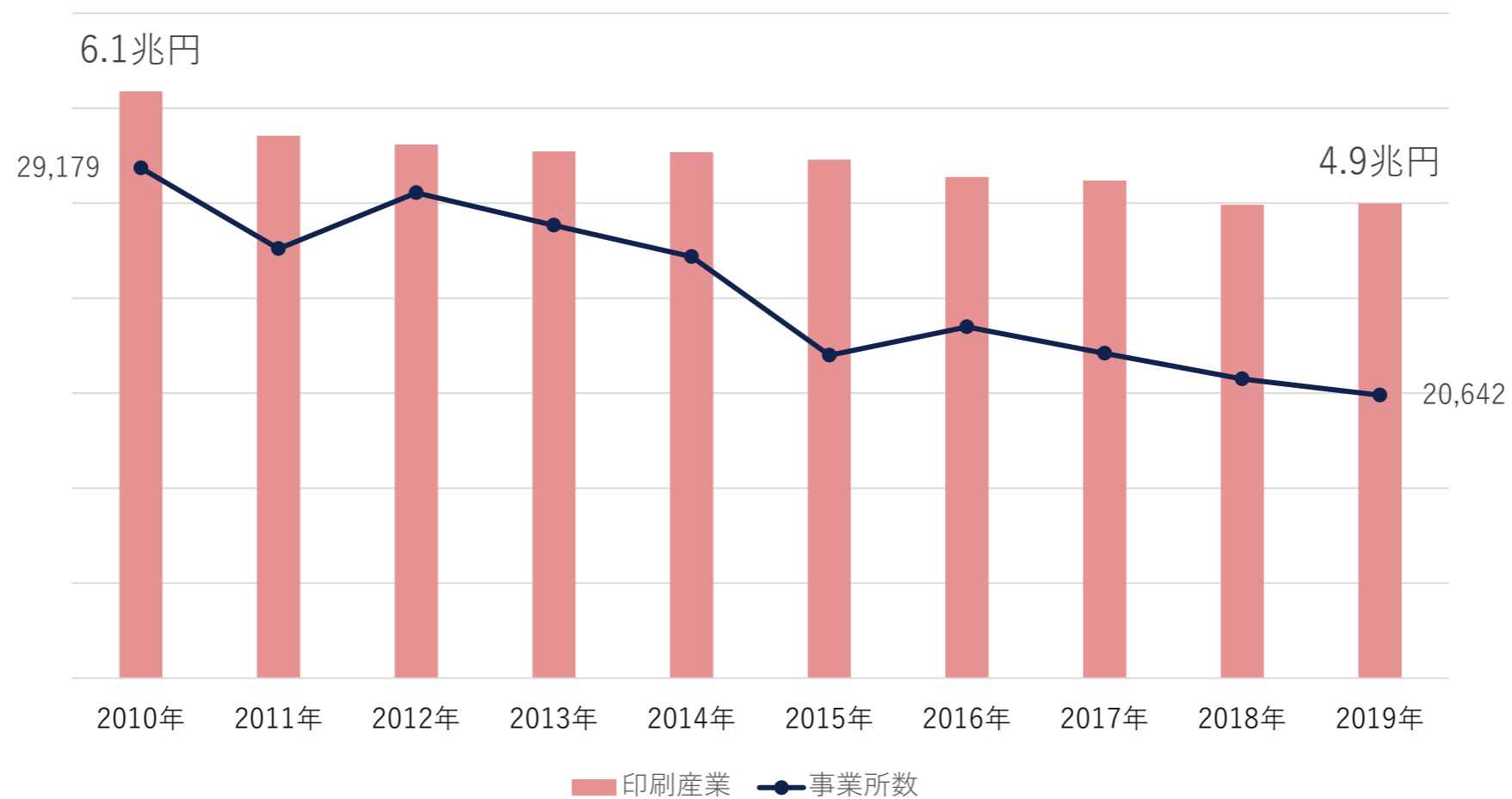
印刷業界

市場規模：4.9兆円

- ・出版印刷 …… 書籍、雑誌
- ・商業印刷 …… チラシ、カタログ、ポスター
- ・包装印刷 …… パッケージ
- ・その他 …… 証券印刷、建装材印刷など

05 印刷業界の市場

印刷市場全体の推移



出典：日本印刷産業連合会「印刷産業 Annually Report Vol.1 2022年」

05 印刷業界の市場

商業印刷

- ・訴求力のあるオリジナル性
- ・大量印刷から小ロット化へ

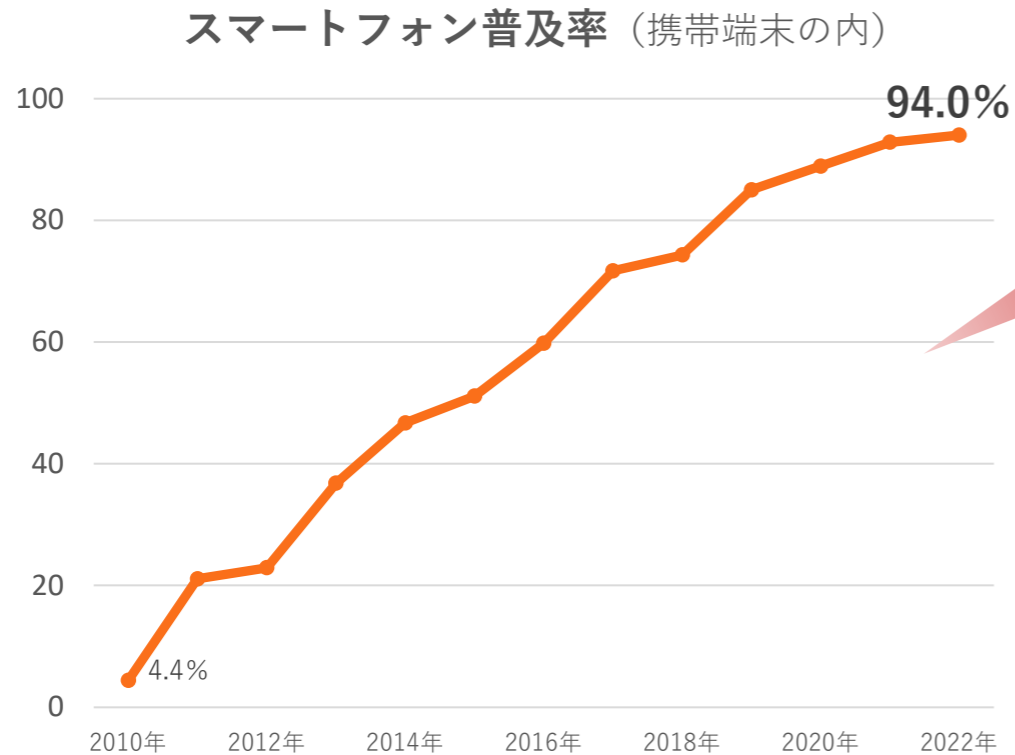


- ・デザイン、付加価値への注目が上がる
- ・オンデマンドビジネスの加速



06 広告業界の市場

社会全体が急速にデジタルシフト



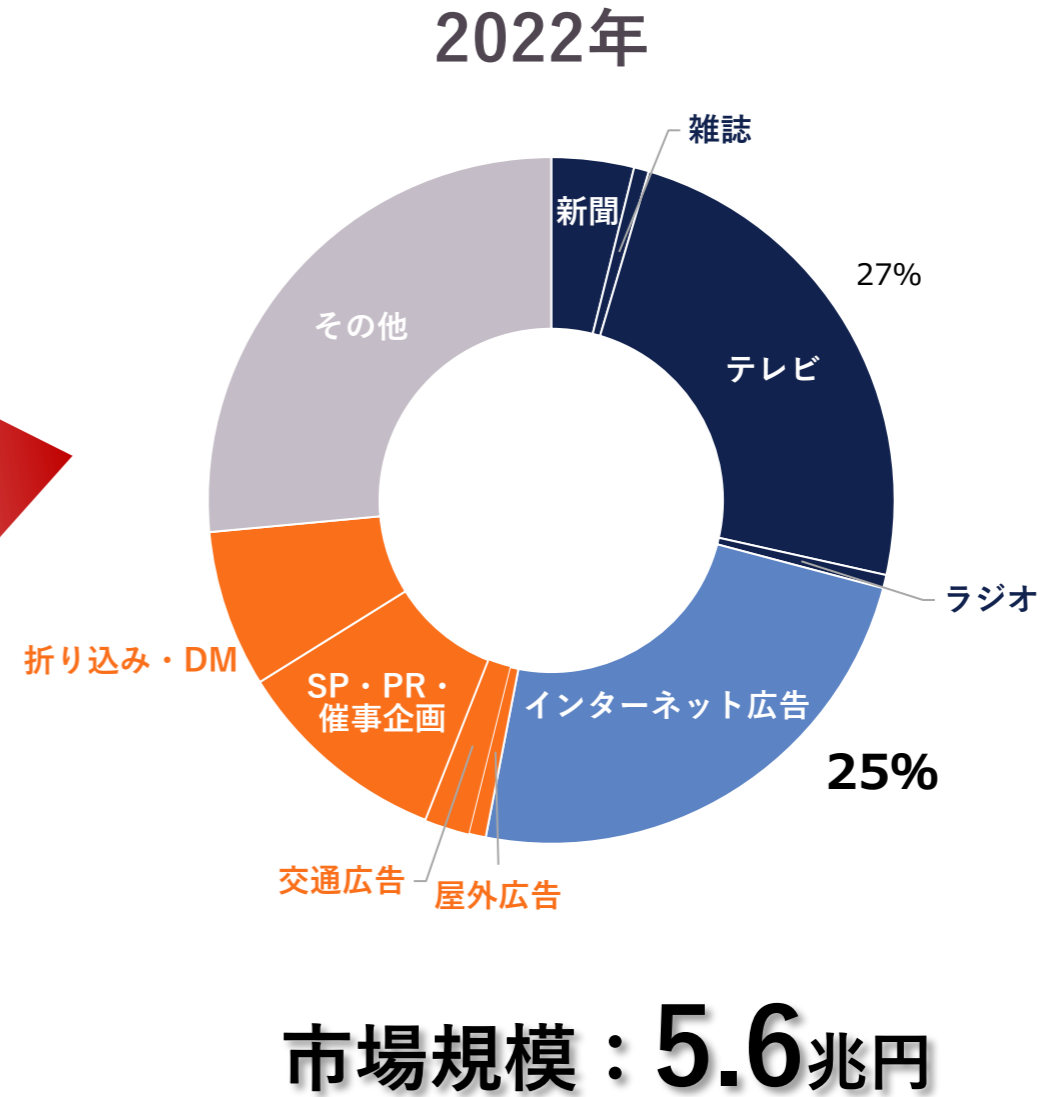
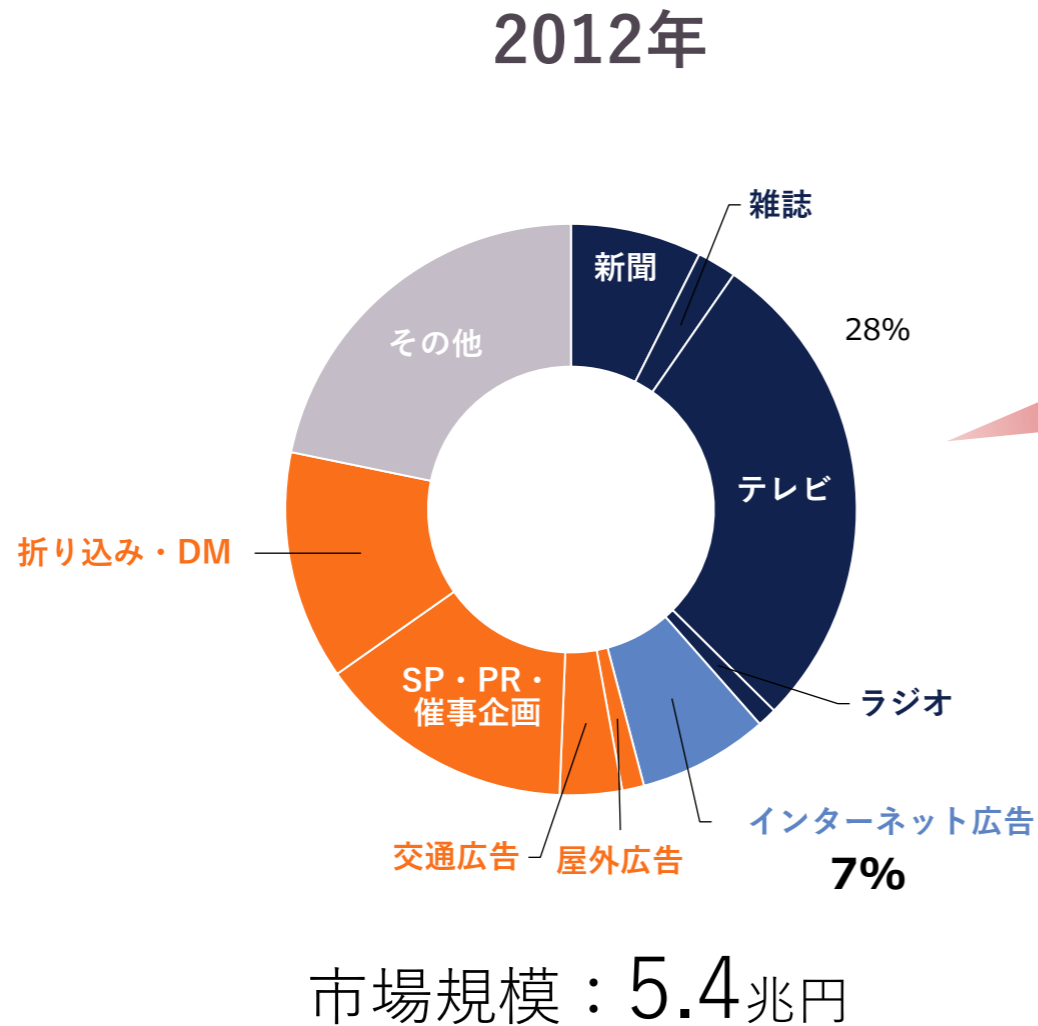
出典：NTTドコモ モバイル社会研究所 220414 [調査対象：全国・15～79歳男女]

社会の変容に適応し、

シフトできる事業者が

産業構造を変える

06 広告業界の市場



06 広告業界の市場

広告業界 市場規模：5.6兆円

- ・マス広告（テレビ・雑誌・新聞・ラジオ） → 減少傾向
- ・インターネット広告（SNS・動画配信サービスなど） → 大幅増
- ・プロモーションメディア（屋外・交通広告・DM）



07 クリエイティブサービス事業

- 専門性高くユニークなグループ各社
- ユニークなソリューションを持つ各社が協力して新たな付加価値を創発する
- 新たな付加価値をワンストップで提供できる



創る

ことをサポート

発想する

ことをサポート

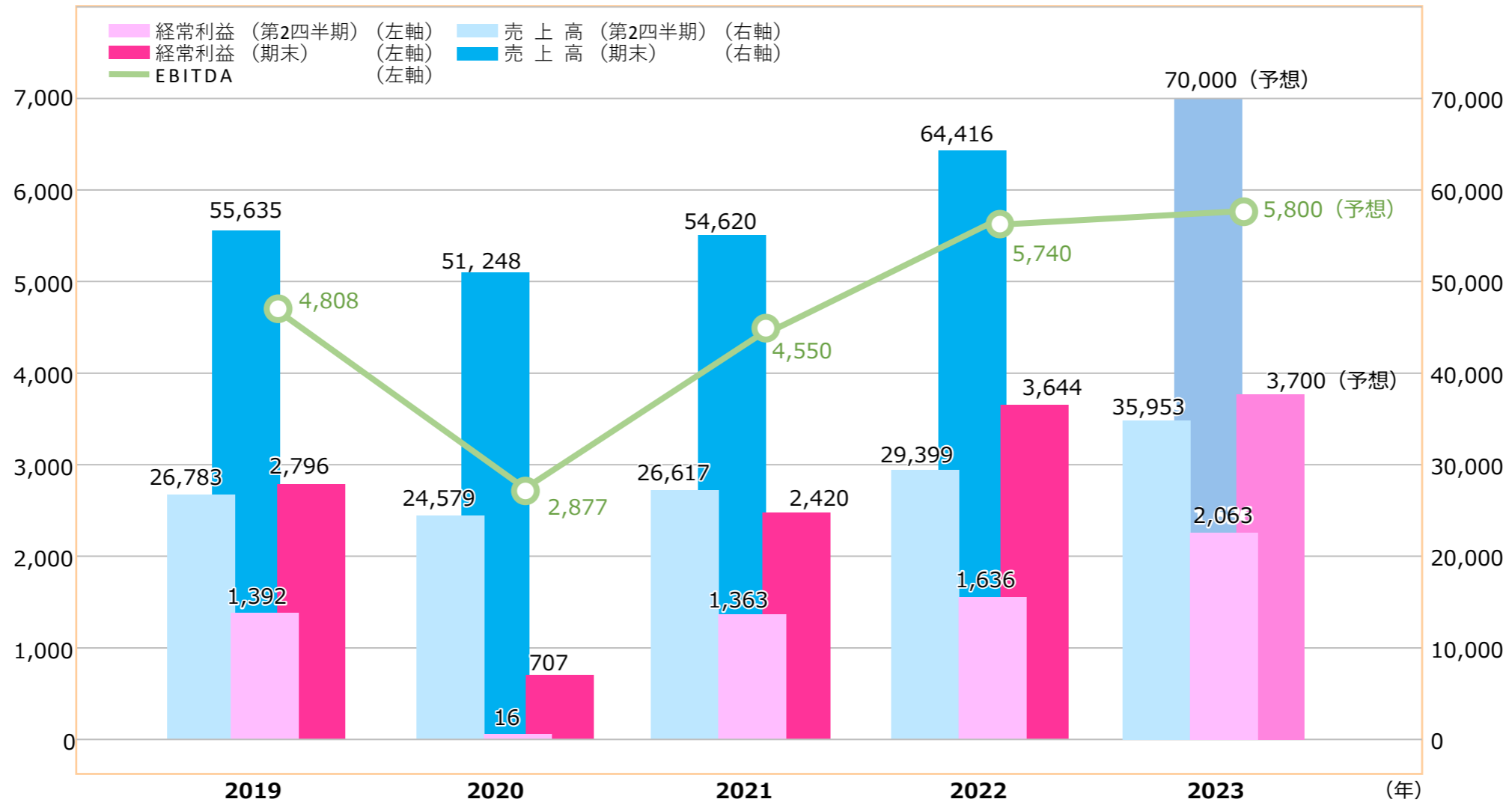
届ける

ことをサポート

08 2023年12月期 期初予想に変更なし。(連結)

(単位：百万円)

(単位：百万円)



※EBITDA = 経常利益減価償却費のれんの償却額金融費用

※2019年12月期以降は、不動産賃貸収入を売上高ではなく 営業外収入として計上しています

09 2023年12月期2Q 連結累計期間の概況

(単位：百万円)

	2023年2Q 実績 (A)	2023年12月期計画 (B)		2022年2Q 実績 (C)	差 異 (A-C)	
	金 額	金 額	対計画比 進捗率	金 額	金 額	対前期比 増減率
売 上 高	35,953	70,000	51.4%	29,399	6,554	22.3%
営業利益	1,670	3,300	50.6%	1,560	109	7.0%
営業利益率	4.6%	4.7%	—	5.3%	—	—
経常利益	2,063	3,700	55.8%	1,636	426	26.1%
経常利益率	5.7%	5.3%	—	5.6%	—	—
親会社株主に 帰属する四半期 (当期)純利益	1,375	2,200	62.5%	773	601	77.7%
当期純利益率	3.8%	3.1%	—	2.6%	—	—
EBITDA	2,977	5,800	51.3%	2,769	207	7.5%

※EBITDA = 経常利益減価償却費のれんの償却額金融費用

09 2023年12月期2Q 連結累計期間の概況

(単位：百万円)

		2023年12月期2Q(実績)	2022年12月期2Q(実績)	前期比増減	増減率
A	売上高	35,953	29,399	6,554	22.3%
B	原材料費	8,007	6,291	1,715	27.3%
	商品仕入	▲ 3	38	▲ 41	－ %
	外注加工費	10,182	7,345	2,837	38.6%
	運搬費・著作権料・保管費	1,295	1,326	▲ 31	▲ 2.4%
	その他の原価	23	102	▲ 78	▲ 77.1%
A - B		16,448	14,294	2,153	15.1%
	人件費	9,864	8,778	1,086	12.4%
	減価償却費	806	690	116	16.8%
	のれん償却費	32	55	▲ 23	▲ 41.7%
	賃借料	647	543	104	19.1%
	租税公課	205	174	31	17.8%
	貸倒費用	18	▲ 6	25	－ %
営業利益		1,670	1,560	109	7.0%
	支払利息	▲ 74	▲ 82	7	－ %
	持分法損益	94	▲ 82	186	－ %
経常利益		2,063	1,636	426	26.1%
当期利益		1,375	773	601	77.7%

10

連結貸借対照表 (資産の部)

(単位：百万円・%)

科 目	2023年12月期 2 Q		2022年12月期		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
流動資産	30,553	44.7%	29,953	44.2%	599	2.0%
現金及び預金	10,899	15.9%	10,400	15.3%	498	4.8%
受取手形、売掛金及び契約資産	11,909	17.4%	12,867	19.0%	▲ 958	▲ 7.4%
電子記録債権	2,580	3.8%	2,469	3.6%	111	4.5%
その他	5,163	7.5%	4,215	6.2%	948	22.5%
固定資産	37,874	55.3%	37,818	55.8%	55	0.1%
有形固定資産	27,186	39.7%	25,479	37.6%	1,706	6.7%
建物及び構築物	8,035	11.7%	7,729	11.4%	305	4.0%
機械装置及び運搬具	3,316	4.8%	2,671	3.9%	645	24.1%
土地	15,486	22.6%	14,773	21.8%	713	4.8%
その他	347	0.5%	304	0.5%	42	14.0%
無形固定資産	1,777	2.6%	1,420	2.1%	357	25.1%
のれん	525	0.8%	201	0.3%	323	160.6%
その他	1,252	1.8%	1,218	1.8%	33	2.8%
投資その他の資産	8,910	13.0%	10,918	16.1%	▲ 2,008	▲ 18.4%
投資有価証券	5,382	7.9%	4,948	7.3%	433	8.8%
その他	3,528	5.2%	5,970	8.8%	▲ 2,442	▲ 40.9%
資産合計	68,427	100.0%	67,771	100.0%	655	1.0%

10

連結貸借対照表 (負債及び純資産の部)

(単位：百万円・%)

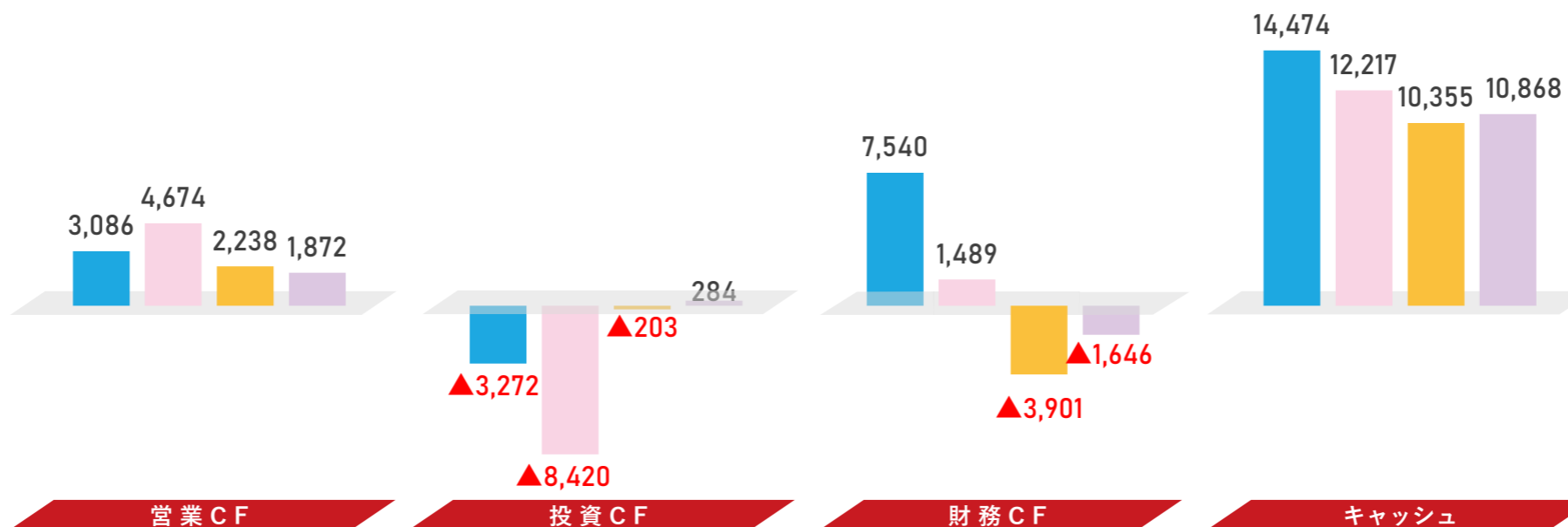
科 目	2023年12月期 2Q		2022年12月期		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
流動負債	40,018	58.5%	41,360	61.0%	▲ 1,341	▲ 3.2%
買掛金	4,699	6.9%	5,032	7.4%	▲ 332	▲ 6.6%
短期借入金	27,000	39.5%	27,000	39.8%	—	— %
1年以内返済予定長期借入金	2,400	3.5%	2,400	3.5%	—	— %
その他	5,918	8.6%	6,927	10.2%	▲ 1,008	▲ 14.6%
固定負債	13,285	19.4%	13,675	20.2%	▲ 390	▲ 2.9%
長期借入金	9,450	13.8%	10,650	15.7%	▲ 1,200	▲ 11.3%
退職給付に係る負債	203	0.3%	134	0.2%	68	51.0%
その他	3,632	5.3%	2,891	4.3%	741	25.6%
負債合計	53,304	77.9%	55,035	81.2%	▲ 1,731	▲ 3.1%
株主資本	14,125	20.6%	12,153	17.9%	1,972	16.2%
資本金	400	0.6%	400	0.6%	—	— %
資本剰余金	5,949	8.7%	5,461	8.1%	488	8.9%
利益剰余金	9,288	13.6%	8,144	12.0%	1,143	14.0%
自己株式	▲ 1,512	▲ 2.2%	▲ 1,852	▲ 2.7%	340	▲ 18.4%
その他の包括利益累計額合計	494	0.7%	133	0.2%	360	270.4%
非支配株主持分	503	0.7%	449	0.7%	53	12.0%
純資産合計	15,123	22.1%	12,736	18.8%	2,386	18.7%
負債・純資産合計	68,427	100.0%	67,771	100.0%	655	1.0%

11 キャッシュ・フロー

■ 2020年12月期 ■ 2021年12月期 ■ 2022年12月期 ■ 2023年12月期 2 Q

(単位：百万円)

	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期 2 Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,086	4,674	2,238	1,872
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3,272	▲8,420	▲203	284
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,540	1,489	▲3,901	▲1,646
現金及び現金同等物の期末残高	14,474	12,217	10,355	10,868



12 2023年12月期 業績の見通し (連結)

(単位：百万円)

	2022年12月期 (実績)	2023年12月期 (予想)	前 期 比	
			差 額	増減率
売 上 高	64,416	70,000	5,583	8.7%
営業利益	3,248	3,300	51	1.6%
経常利益	3,644	3,700	55	1.5%
EBITDA	5,740	5,800	59	1.0%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,003	2,200	196	9.8%
EPS (円 銭)	41円54銭	45円60銭		
1株当たり年間 配当金 (円 銭)	11円00銭	12円00銭		
期中平均株式数 (千株)	48,243			

※EBITDA = 経常利益減価償却費のれんの償却額金融費用

本日は決算説明会へのご参加 ありがとうございました。

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料作成時点において、

当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、

当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、

当資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われないようにお願いいたします。



日本創発グループ
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP

U R L : <https://www.jcpj.co.jp/>

E-mail : cp@jcpj.co.jp

T E L : 03-5817-3061 IR担当